



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2020年1月30日

上場会社名	大日本住友製薬株式会社	上場取引所	東
コード番号	4506	URL	<a href="https://www.ds-pharma.co.jp/">https://www.ds-pharma.co.jp/</a>
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 野村 博	
問合せ先責任者	(役職名) 執行役員 コーポレート コミュニケーション担当	(氏名) 樋口 敦子	(TEL) 03-5159-3300

四半期報告書提出予定日 2020年2月5日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	357,017	2.9	64,254	15.0	81,461	73.9	43,979	10.0	43,979	10.0	34,896	△37.8
2019年3月期第3四半期	346,871	△2.3	55,863	△28.4	46,831	△33.9	39,969	△8.9	39,969	△8.9	56,061	0.3

(参考) 税引前四半期利益 2020年3月期第3四半期 84,422 百万円 2019年3月期第3四半期 53,162 百万円

※コア営業利益は、営業利益から当社が定めた非経常的な原因による損益(調整項目)を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	110.70	—
2019年3月期第3四半期	100.60	—

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	1,115,152	522,352	519,924	46.6	1,308.66
2019年3月期	834,717	498,138	498,138	59.7	1,253.82

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	9.00	—	19.00	28.00
2020年3月期	—	14.00	—		
2020年3月期(予想)				14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	475,000	3.4	64,000	△17.2	75,000	29.6	26,000	△46.5	31,000	△36.2	78.03

(参考) 税引前利益 通 期 78,000 百万円

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 有

Sumitovant Biopharma Ltd.  
 Myovant Sciences Ltd.  
 Myovant Holdings Limited  
 Myovant Sciences GmbH  
 Myovant Treasury Holdings, Inc.  
 Myovant Treasury, Inc.  
 Urovant Sciences Ltd.  
 Urovant Holdings Limited  
 Urovant Sciences GmbH  
 Urovant Treasury Holdings, Inc.  
 Urovant Sciences Treasury, Inc.  
 Enzyvant Therapeutics Ltd.  
 Enzyvant Therapeutics General Ltd.  
 Enzyvant Therapeutics Holdings Limited  
 Enzyvant Therapeutics GmbH  
 Enzyvant Farber Ltd.  
 Altavant Sciences Ltd.  
 Altavant Sciences Holdings Limited  
 Altavant Sciences GmbH  
 Spirovant Sciences, Inc.

新規20社（社名）

除外一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.12「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（重要な会計方針）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期第3四半期	397,900,154株	2019年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	2020年3月期第3四半期	604,695株	2019年3月期	603,851株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期第3四半期	397,295,852株	2019年3月期第3四半期	397,297,342株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれています。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画などが記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通しなどが記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算カンファレンスコール説明資料を開示しております。
- ・当社は、2020年1月30日（木）に機関投資家・アナリスト向けに、第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しております。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

## (1) 経営成績に関する説明

## (業績管理指標「コア営業利益」について)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとします。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	増減	増減率 (%)
売上収益	3,469	3,570	101	2.9
コア営業利益	559	643	84	15.0
営業利益	468	815	346	73.9
税引前四半期利益	532	844	313	58.8
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	400	440	40	10.0

なお、Roivant Sciences Ltd.（以下、「ロイバント社」）との戦略的提携に伴う株式譲渡等の手続きが、2019年12月27日付けで完了しました。これに伴う当第3四半期連結累計期間の業績に与える影響は軽微であります。

■ 売上収益は3,570億円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

日本セグメントは、長期収載品の売上が減少しましたが、2型糖尿病治療剤「トルリシティ」の売上が拡大したことや、2型糖尿病治療剤「エクア」および「エクメット」の販売を開始したことから増収となりました。また、当社グループの収益の柱である非定型抗精神病薬「ラツダ」等の売上が伸長したことにより、北米セグメントが増収となったことに加え、中国セグメントでも増収となりました。

■ コア営業利益は643億円（前年同四半期比15.0%増）となりました。

増収に伴う売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費等が減少したことから、コア営業利益は増益となりました。

■ 営業利益は815億円（前年同四半期比73.9%増）となりました。

がん領域等において、開発計画を含む事業計画の見直しを実施したことにより、無形資産である仕掛研究開発の減損損失を計上しました。また、事業計画の見直しに伴い、Boston Biomedical, Inc. および Tolero Pharmaceuticals, Inc. の買収に係る条件付対価公正価値が大きく減少することとなり、減損損失を上回る費用の戻入が発生しました。この結果、コア営業利益の増益に加え、営業利益は大幅な増益となりました。

■ 税引前四半期利益は844億円（前年同四半期比58.8%増）となりました。

金融収益が金融費用を上回ったことから、税引前四半期利益は営業利益に比べ増加しました。

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は440億円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

ナパブカシンの膵がん患者を対象としたフェーズ3試験中止の決定等に伴い、米国において認識していた繰延税金資産の取り崩しを行ったこと等により、法人所得税が大幅に増加しましたが、税引前四半期利益の増益が大きく、親会社の所有者に帰属する四半期利益においても増益となりました。

なお、親会社の所有者に帰属する四半期利益の売上収益に対する比率は12.3%となりました。

### (セグメント業績指標「コアセグメント利益」について)

セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### 【日本】

##### ■ 売上収益は1,043億円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

非定型抗精神病薬「ロナセン」の経口剤や高血圧症治療剤「アイミクス」などの長期収載品の売上は減少しましたが、「トルリシティ」の売上増加に加え、「エクア」および「エクメット」の販売を開始したこと等が寄与し、増収となりました。

##### ■ コアセグメント利益は201億円（前年同四半期比13.2%減）となりました。

品目構成の変化により売上総利益が減少したことにより、減益となりました。

#### 【北米】

##### ■ 売上収益は1,957億円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

「ラツード」に加え、抗てんかん剤「アプティオム」等の売上も伸長したことから、増収となりました。

##### ■ コアセグメント利益は902億円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

増収による売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費が減少したことにより、増益となりました。

#### 【中国】

##### ■ 売上収益は202億円（前年同四半期比23.4%増）となりました。

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」等の売上が増加したことにより、増収となりました。

##### ■ コアセグメント利益は94億円（前年同四半期比40.4%増）となりました。

増収による売上総利益の増加により、大幅な増益となりました。

#### 【海外その他】

##### ■ 売上収益は87億円（前年同四半期比14.7%減）となりました。

「メロペン」の輸出が減少したこと等から、減収となりました。

##### ■ コアセグメント利益は32億円（前年同四半期比5.6%増）となりました。

販売費及び一般管理費が減少したこと等から、増益となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品等の販売を行っており、これらの売上収益は282億円（前年同四半期比2.9%減）、コアセグメント利益は25億円（前年同四半期比4.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

非流動資産では、無形資産が仕掛研究開発の減損等により減少し、繰延税金資産が米国での取り崩しにより減少しました。一方、ロイバント社との戦略的提携に伴う株式譲渡等の手続きが完了したことに伴い、のれんやロイバント社株式の取得により非流動資産のその他の金融資産が大きく増加したことに加え、IFRS第16号「リース」の当期首からの適用に伴い有形固定資産が増加しました。これらの結果、前連結会計年度末に比べ3,055億円増加しました。

流動資産は、現金及び現金同等物や、短期貸付金の減少によりその他の金融資産が減少した結果、前連結会計年度末に比べ251億円減少しました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ2,804億円増加し、1兆1,152億円となりました。

負債については、条件付対価公正価値の減少に伴い、その他の金融負債が減少しましたが、当該戦略的提携の対価の支払いに係る資金調達により借入金が大きく増加した結果、前連結会計年度末に比べ2,562億円増加し、5,928億円となりました。

資本については、利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末に比べ242億円増加し、5,224億円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末において、当該提携において取得した資産および引き受けた負債は、公正価値評価が完了していないため、暫定的な金額であります。

当第3四半期連結会計期間末の親会社所有者持分比率は46.6%となりました。

## (3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益の増加等により、前年同四半期に比べ176億円収入が増加し、368億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、ロイバント社との戦略的提携の手続きが完了したことに伴い、同社株式を取得したことによる投資の取得による支出として1,098億円、子会社の支配獲得による支出として2,058億円が発生したこと等により、前年同四半期に比べ2,805億円支出が増加し、2,847億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、当該戦略的提携の対価の支払いに伴い、2,700億円の資金調達を実施したことにより、短期借入金が大幅に増加したこと等から、前年同四半期に比べ2,681億円収入が増加し、2,405億円の収入となりました。

上記のキャッシュ・フローに、現金及び現金同等物の為替換算による影響額を加えた結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は1,293億円となり、前連結会計年度末に比べ79億円減少しました。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、2019年7月29日に公表した2020年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しました。

## 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	当期利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	475,000	77,000	88,000	36,000	36,000	90.61
今回修正予想(B)	475,000	64,000	75,000	26,000	31,000	78.03
増減額(B-A)	—	△13,000	△13,000	△10,000	△5,000	—
増減率(%)	—	△16.9	△14.8	△27.8	△13.9	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	459,267	77,299	57,884	48,627	48,627	122.39

(注) コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

売上収益は、各セグメントとも堅調に推移しており、前回発表予想を変更していません。

コア営業利益および営業利益は、ロイバント社との戦略的提携に関する手続き完了に伴い取得したSumitovant Biopharma Ltd. (以下「スミトバント社」)の業績が加わることに伴い、販売費及び一般管理費、研究開発費の増加を見込むことから、前回発表予想からそれぞれ130億円減の640億円、750億円に修正しました。

当期利益は、金融費用の減少を見込むことから、前回発表予想に対して100億円減の260億円に修正し、当期利益から非支配持分を控除した親会社の所有者に帰属する当期利益は、50億円減の310億円に修正しました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 【要約四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上収益	346,871	357,017
売上原価	85,181	93,342
売上総利益	261,690	263,675
販売費及び一般管理費	149,457	97,800
研究開発費	61,969	83,696
その他の収益	644	773
その他の費用	4,077	1,491
営業利益	46,831	81,461
金融収益	6,497	3,324
金融費用	166	363
税引前四半期利益	53,162	84,422
法人所得税	13,193	40,443
四半期利益	39,969	43,979
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	39,969	43,979
四半期利益	39,969	43,979
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	100.60	110.70

## 【要約四半期連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期利益	39,969	43,979
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	7,537	△6,300
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
在外営業活動体の換算差額	8,532	△2,780
キャッシュ・フロー・ヘッジ	23	△3
その他の包括利益合計	16,092	△9,083
四半期包括利益合計	56,061	34,896
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	56,061	34,899
非支配持分	—	△3
四半期包括利益合計	56,061	34,896

## (2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	59,485	71,087
のれん	99,348	331,346
無形資産	171,390	144,886
その他の金融資産	74,668	175,201
未収法人所得税	2,562	1,264
その他の非流動資産	3,277	4,250
繰延税金資産	50,719	38,912
非流動資産合計	461,449	766,946
流動資産		
棚卸資産	66,889	73,299
営業債権及びその他の債権	118,760	127,820
その他の金融資産	43,750	3,887
未収法人所得税	483	2,032
その他の流動資産	6,090	11,820
現金及び現金同等物	137,296	129,348
流動資産合計	373,268	348,206
資産合計	834,717	1,115,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
借入金	27,980	25,737
その他の金融負債	80,387	49,111
退職給付に係る負債	23,613	23,936
その他の非流動負債	6,425	4,927
繰延税金負債	—	2
非流動負債合計	138,405	103,713
流動負債		
借入金	2,960	277,753
営業債務及びその他の債務	49,238	55,520
その他の金融負債	8,673	14,335
未払法人所得税	15,723	15,597
引当金	92,176	87,211
その他の流動負債	29,404	38,671
流動負債合計	198,174	489,087
負債合計	336,579	592,800
資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,861	15,861
自己株式	△674	△676
利益剰余金	431,799	460,277
その他の資本の構成要素	28,752	22,062
親会社の所有者に帰属する持分合計	498,138	519,924
非支配持分	—	2,428
資本合計	498,138	522,352
負債及び資本合計	834,717	1,115,152

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
2018年4月1日残高	22,400	15,860	△669	396,037	31,735	—
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	348	—	—
会計方針の変更を反映した2018年4月1日残高	22,400	15,860	△669	396,385	31,735	—
四半期利益	—	—	—	39,969	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	7,537	—
四半期包括利益合計	—	—	—	39,969	7,537	—
自己株式の取得	—	—	△5	—	—	—
配当金	—	—	—	△11,124	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△5	△11,124	—	—
2018年12月31日残高	22,400	15,860	△674	425,230	39,272	—
2019年4月1日残高	22,400	15,861	△674	431,799	32,611	—
四半期利益	—	—	—	43,979	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△6,300	—
四半期包括利益合計	—	—	—	43,979	△6,300	—
自己株式の取得	—	—	△2	—	—	—
配当金	—	—	—	△13,111	—	—
子会社の取得	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	△2,390	2,390	—
所有者との取引額等合計	—	—	△2	△15,501	2,390	—
2019年12月31日残高	22,400	15,861	△676	460,277	28,701	—

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素					
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	合計			
2018年4月1日残高	△12,619	△21	19,095	452,723	—	452,723
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	348	—	348
会計方針の変更を反映した2018年4月1日残高	△12,619	△21	19,095	453,071	—	453,071
四半期利益	—	—	—	39,969	—	39,969
その他の包括利益	8,532	23	16,092	16,092	—	16,092
四半期包括利益合計	8,532	23	16,092	56,061	—	56,061
自己株式の取得	—	—	—	△5	—	△5
配当金	—	—	—	△11,124	—	△11,124
所有者との取引額等合計	—	—	—	△11,129	—	△11,129
2018年12月31日残高	△4,087	2	35,187	498,003	—	498,003
2019年4月1日残高	△3,853	△6	28,752	498,138	—	498,138
四半期利益	—	—	—	43,979	—	43,979
その他の包括利益	△2,777	△3	△9,080	△9,080	△3	△9,083
四半期包括利益合計	△2,777	△3	△9,080	34,899	△3	34,896
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	△2
配当金	—	—	—	△13,111	—	△13,111
子会社の取得	—	—	—	—	2,431	2,431
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	2,390	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	2,390	△13,113	2,431	△10,682
2019年12月31日残高	△6,630	△9	22,062	519,924	2,428	522,352

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	39,969	43,979
減価償却費及び償却費	10,473	12,902
減損損失	—	22,457
条件付対価公正価値の変動額	5,458	△40,811
受取利息及び配当金	△2,634	△3,321
支払利息	142	278
法人所得税	13,193	40,443
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△6,352	△8,467
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,523	△7,365
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△7,531	8,567
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	31	331
引当金の増減額 (△は減少)	1,972	△3,719
その他	△12,854	△6,560
小計	40,344	58,714
利息の受取額	1,727	2,454
配当金の受取額	828	1,113
利息の支払額	△119	△219
法人所得税の支払額	△23,629	△25,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,151	36,773
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,745	△6,465
有形固定資産の売却による収入	1,450	544
無形資産の取得による支出	△2,763	△3,371
投資の取得による支出	△2,234	△112,615
投資の売却及び償還による収入	—	490
子会社の支配獲得による支出	—	△205,774
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	7,430	42,462
その他	△352	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,214	△284,712
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,500	270,000
長期借入金の返済による支出	△2,220	△13,188
社債の償還による支出	△10,000	—
リース負債の返済による支出	△774	△3,237
配当金の支払額	△11,114	△13,098
その他	△5	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,613	240,475
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△12,676	△7,464
現金及び現金同等物の期首残高	147,775	137,296
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,460	△484
現金及び現金同等物の四半期末残高	139,559	129,348

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

基準書、解釈指針の新設又は改訂		新設又は改訂の概要
IFRS第16号	リース	リースの認識に関する会計処理の改訂

当社グループは、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表、以下「IFRS第16号」)を適用しております。

当社グループは、契約が特定された資産の使用を支配する権利を一定期間にわたり対価と交換に移転しているか否かに基づき、契約がリースであるか、又はリースを含んでいるかを判定しております。

契約がリース又はリースを含んでいると判定した場合、リース開始日において、使用权資産及びリース負債を認識しております。

## ① 使用权資産

使用权資産は取得原価で当初測定しており、取得原価はリース開始日時点におけるリース負債の当初測定額に取得時直接コスト等を調整した金額で認識しております。

使用权資産の認識後の測定方法として、原価モデルを採用しております。当初認識後は、原資産のリース期間又は見積耐用年数のいずれか短い期間にわたり、定額法に基づいて減価償却を行っております。

また、要約四半期連結財政状態計算書において、使用权資産は取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した価額で、有形固定資産に含めて表示しております。

## ② リース負債

リース負債は、リース開始日現在で支払われていないリース料の割引現在価値で当初認識しております。通常、当社グループは、追加借入利率を割引率として用いております。当初認識後は、リース負債に係る金利及び支払われたリース料を反映するよう、実効金利法に基づき帳簿価額を増減しております。また、要約四半期連結財政状態計算書において、リース負債はその他の金融負債に含めて表示しております。

リース料は、リース負債残高に対して一定の利率となるよう金融費用とリース負債の返済部分とに配分しております。金融費用は、要約四半期連結損益計算書において、使用权資産の減価償却費と区別して表示しております。

なお、短期リース及び少額資産のリースについて、当社グループは基本的に使用权資産及びリース負債として認識せず、リース料総額をリース期間にわたり、定額法に基づいて純損益に計上しております。

## ③ 連結財務諸表への影響

当社グループは、以下のIFRS第16号の経過措置の規定(修正遡及アプローチ)に従い、IFRS第16号を適用しております。

(i) IFRS第16号適用による累積的影響額を、適用開始日に認識

(ii) 過去にオペレーティング・リースに分類していたリースについて、

(a) リース負債を、適用開始日における残存リース料総額を適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定

## (b) 使用権資産を、以下のいずれかで測定し認識

- ・ IFRS第16号がリース開始日から適用されていたかのように帳簿価額で認識。ただし、適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引く
- ・ リース負債の測定額に前払リース料又は未払リース料を調整した金額で認識

なお、IFRS第16号への移行にあたり、当社グループは、取引がリースであるか否かに関する従前の判定を引き継ぐ実務上の便法を適用することを選択しております。

これらの結果、当社グループの適用開始日における財政状態への影響として、要約四半期連結財政状態計算書の資産合計が14,626百万円、負債合計が14,626百万円それぞれ増加しております。なお、業績に与える影響は軽微であります。

適用開始日現在のリース負債に適用した追加借入利率の加重平均は1.5%であります。

適用開始日の直前年度の末日現在における解約不能オペレーティング・リースの将来最低リース料総額と適用開始日現在における連結財政状態計算書で認識したリース負債の差額は以下の通りです。

(単位：百万円)

2019年3月31日現在における解約不能オペレーティング・リースの将来最低リース料総額	9,543
上記の2019年4月1日現在の追加借入利率を用いて割り引いた金額	8,790
2019年3月31日現在で認識したファイナンス・リース債務	2,043
リース期間を見直したことにより追加で計上したリース負債	6,525
2019年4月1日現在のリース負債	17,358

## (セグメント情報等)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

## (1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、中国等マーケットごとに医薬品事業の業績管理を行っているため、日本、北米、中国、海外その他の4つを報告セグメントとしております。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

## (2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は、以下のとおりであります。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

なお、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」における報告セグメントに含まれない「その他」の区分に係るコアセグメント利益の金額及び前年同四半期比増減については、セグメント間取引として消去された利益を含めて記載しております。

## ① 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益	100,646	190,612	16,331	10,180	317,769	29,102	346,871
セグメント間の内部売上 収益	55	—	—	—	55	25	80
合計	100,701	190,612	16,331	10,180	317,824	29,127	346,951
セグメント利益 (コアセグメント利益)	23,188	82,502	6,661	3,002	115,353	2,316	117,669

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

## ② 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益	104,274	195,658	20,152	8,685	328,769	28,248	357,017
セグメント間の内部売上 収益	69	—	—	—	69	37	106
合計	104,343	195,658	20,152	8,685	328,838	28,285	357,123
セグメント利益 (コアセグメント利益)	20,131	90,239	9,355	3,169	122,894	2,438	125,332

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

## (3) 報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

調整額に関する事項は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

売上収益	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
報告セグメント計	317,824	328,838
「その他」の区分の売上収益	29,127	28,285
セグメント間取引消去	△80	△106
要約四半期連結財務諸表の売上収益	346,871	357,017

(単位：百万円)

利益	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
報告セグメント計	115,353	122,894
「その他」の区分の利益	2,316	2,438
セグメント間取引消去	22	14
研究開発費(注)	△61,969	△61,210
事業譲渡益等	124	121
その他	17	△3
コア営業利益	55,863	64,254
条件付対価公正価値の変動額	△5,458	40,811
減損損失	—	△22,457
その他の収益	503	655
その他の費用	△4,077	△1,491
その他	—	△311
要約四半期連結財務諸表の営業利益	46,831	81,461

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。なお、要約四半期連結損益計算書における研究開発費との差額は、コア営業利益の算定から除外される減損損失及び研究開発関連費用であります。

## (減損損失)

当第3四半期連結累計期間に認識した減損損失22,457百万円は、要約四半期連結損益計算書の研究開発費に計上しており、全て無形資産に係る減損損失であります。

当該減損損失は、医薬品事業の北米セグメントにおける血液がんを対象として開発中のサイクリン依存性キナーゼ(CDK)9阻害剤alvocidib(開発コード：DSP-2033)に係る仕掛研究開発の減損損失17,385百万円、抗がん剤amcasertib(開発コード：BBI503)に係る仕掛研究開発の減損損失1,739百万円及び北米での慢性期脳梗塞を対象とした再生細胞薬SB623に係る仕掛研究開発の減損損失3,333百万円であります。

alvocidibに係る仕掛研究開発は、想定されていた収益性の低下により、帳簿価額を回収可能価額8,763百万円まで減額しております。amcasertibに係る仕掛研究開発は、開発中止により収益性が見込めなくなったため、帳簿価額全額を減額しております。また、SB623に係る仕掛研究開発は、共同開発及びライセンス契約の解消により、北米の本剤に関する権利を返還したことから、収益性が見込めなくなったため、帳簿価額全額を減額しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、税引前の割引率は17.0%を採用しております。

## (企業結合等関係)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## (1) 企業結合の概要

## ① Sumitovant Biopharma Ltd.

## (i) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：Sumitovant Biopharma Ltd.

事業の内容：持株会社

## (ii) 取得した議決権付資本持分の割合

100%

## ② Sumitovant Biopharma, Inc.

## (i) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：Sumitovant Biopharma, Inc.

事業の内容：グループ会社の管理、事業・販売開発、ヘルスケアプラットフォームの活用推進等

## (ii) 取得した議決権付資本持分の割合

100%

③ Myovant Sciences Ltd.

(i) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：Myovant Sciences Ltd.

事業の内容：レルゴリクス、MVT-602等の医薬品の研究開発

(ii) 取得した議決権付資本持分の割合

50%

④ Urovant Sciences Ltd.

(i) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：Urovant Sciences Ltd.

事業の内容：ビベグロン、UR0-902等の医薬品の研究開発

(ii) 取得した議決権付資本持分の割合

75%

⑤ Enzyvant Therapeutics Ltd.

(i) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：Enzyvant Therapeutics Ltd.

事業の内容：RVT-802、RVT-801等の医薬品の研究開発

(ii) 取得した議決権付資本持分の割合

100%

⑥ Altavant Sciences Ltd.

(i) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：Altavant Sciences Ltd.

事業の内容：Rodatristat ethyl等の医薬品の研究開発

(ii) 取得した議決権付資本持分の割合

100%

⑦ Spirovent Sciences Ltd.

(i) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：Spirovent Sciences Ltd.

事業の内容：SPIRO-2101、SPIRO-2102等の医薬品の研究開発

(ii) 取得した議決権付資本持分の割合

100%

(2) 取得日

2019年12月27日

(3) 被取得企業の支配の獲得方法

現金を対価とする株式取得

(4) 企業結合を行った主な理由

当社とロイバント社との間の戦略的提携に伴う株式譲渡等の手続きが2019年12月27日付で完了しました。

当社は、「中期経営計画2022」において、収益の柱である米国での非定型抗精神病薬「ラツータ」の独占販売期間終了後も持続的な成長を実現するため、「成長エンジンの確立」と「柔軟で効率的な組織基盤づくり」を基本方針として掲げ、事業基盤の再構築に取り組んでいます。

ロイバント社は、機敏性と起業家精神を重視したバイオファーマ会社である「Vant」を複数設立し、革新的な医薬品とテクノロジーを患者さんに迅速に提供することにより、健康に寄与することを目指しています。各Vantは、独特な手法による人材の採用やテクノロジーの導入を通じて研究開発と販売の効率化に取り組んでいます。

当社は、本戦略的提携により、2022年度までに上市が期待され将来的にブロックバスターとなりうる開発品を含む、多数のパイプラインを獲得することに加え、当社グループ全体のR&D生産性の向上、デジタルトランスフォーメーショ

ンの加速を図り、中長期的な成長を目指します。

本戦略的提携に伴い、ロイバント社は、新会社スミトバント社にロイバント社が保有する子会社5社の株式(Myovant Sciences Ltd.、Urovant Sciences Ltd.、Enzyvant Therapeutics Ltd.、Altavant Sciences Ltd. 及び Spirovant Sciences Ltd.)等を移管し、当社は、スミトバント社の全株式を取得しました。

なお、当社によるスミトバント社の株式取得により、スミトバント社及び傘下の5社がそれぞれ持つ子会社を含め、合計33社が当社の連結子会社となります。

(5) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	224,555	百万円
取得原価		224,555	百万円

(6) 取得関連費用

取得関連費用は4,072百万円であり、要約四半期連結損益計算書上、「販売費及び一般管理費」に含めて表示しております。

(7) 取得資産及び引受負債の公正価値、非支配持分及びのれん

(単位：百万円)

科目	金額
非流動資産	3,165
流動資産	23,532
非流動負債	12,902
流動負債	20,114
純資産	△6,319
非支配持分(注2)	2,431
のれん(注3)	233,305

- (注) 1 独立の専門家による取得した資産及び引き受けた負債の公正価値評価が完了していないため、上記項目については暫定的な金額で報告しております。
- 2 非支配持分は、支配獲得日における識別可能な被取得企業の純資産額の暫定的な公正価値に、非支配株主に個別に帰属する部分を除き、企業結合後の持分比率を乗じて測定しております。
- 3 取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に暫定的に配分された純額を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。また、のれんは税務上損金算入不能なものであります。

(8) 子会社の取得による支出

(単位：百万円)

科目	金額
現金による取得対価	224,555
支配獲得時に被取得企業が保有していた現金及び現金同等物	18,781
子会社の取得による現金支払額	205,774

(重要な後発事象)

該当事項はありません。